

2021年度事業報告

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

コロナ禍が子どもと家庭に及ぼした影響、その対応について、教育分野を中心とする大規模調査に基づく報告とともに、母子保健、子どもの居場所活動、児童相談所で明らかになった課題や対応に関する報告が行われた。オンライン開催としたことで、遠隔地の方や時間的制約のある方にも視聴していただく機会を提供することができた。終了後のアンケートでは、「登壇者の講話や実践が素晴らしかった」、「今後の業務に活かしていきたい」、「様々な立場からの報告を聞くことができ勉強になった」等の感想もあり、視聴者の関心に応えることができた。

◆ 第31回シンポジウム

- テーマ : 「コロナ禍における子ども虐待の状況と対応」
- 日時・会場 : 2022年2月27日 オンライン開催 (Zoomウェビナー)
- 参加者 : 視聴参加 約500名、オンデマンド配信視聴 450名
- 内容 : 基調講演、報告、および質疑応答、意見交換

◆ 20周年記念誌の制作

設立20周年を期して、これまでの活動を振り返り、今後の活動の在り方を考えることを主旨として、記念誌「児童虐待防止全国ネットワーク20年のあゆみ～子ども虐待のない社会を目指して」を制作、発行した。記念誌は、正会員、賛助会員、主要民間団体他、関係各所へ配布した。



2 児童虐待防止啓発活動事業

社会全体の子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実に図るために、行政をはじめ、関係団体、企業等との協力を得ながら、啓発活動及びソーシャルアクションを行った。オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、学生によるオレンジリボン運動、ホームページの活用等、子ども虐待防止のためのオレンジリボン運動を幅広く実施した。

◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心に全国の個人サポーターおよび支援企業・団体に対して、オレンジリボンポスター掲出を呼びかけ、ポスター670枚を提供し、協力をいただいた。また、ホームページでも春のオレンジリボンキャンペーンについて掲載し、11月の虐待防止月間のみならず市民の参加意識を高められるよう子ども虐待防止の啓発をした。

- 実施時期 : 2021年4月～5月
- 内容 : オレンジリボンの着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ オレンジリボンフォーラム

「子どもと子育てにやさしい社会が虐待のない社会を作る」をコンセプトとして、オレンジリボンフォーラムを共催、実施した。

- 日時・会場 : 2021年11月14日(日) 安満遺跡公園(大阪府高槻市)・同時ライブ配信
- 参加者 : 約2,000人
- 内容 : 大阪を拠点とする多くの市民団体との共催により、大阪府高槻市で「オレンジリボンフェスタ2021 in Osaka」を開催した。当日は、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮したうえで、遊べる学べるブースや唄やダンスパフォーマンスが行われ、来場した親子に楽しい時間を提供することができた。また、同時ライブ配信も行い、会場へ来られない方々にも視聴参加していただき、より多くの方々に楽しんでいただけた。

◆ オレンジリボンポスターコンテスト

一般市民への啓発を目的に、全国から子ども虐待防止のポスターデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…12月～3月、選考4月、表彰…6月(HPでの結果発表のみ)
- 内容 : 最優秀賞1名、優秀賞1名、オレンジリボンサポーター賞1名、ユース最優秀賞1名、ユース優秀賞2名、審査員特別賞1名、特別賞、企業賞/団体賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数680作品(一般部門481点、ユース部門199点)が集まり、特にユースは、昨年より倍増した。予定していた表彰式の開催は中止とした。
- 選考したデザインよりポスター・チラシ等を作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<オレンジリボンサポーター賞>



<ユース最優秀賞>

◆ グッズ作成・配布

オレンジリボングッズに新アイテムとして、除菌ウェットティッシュを追加した。コロナ禍ということもあり、11月を中心に組織ぐるみでの啓発活動として配布用に活用されるケースが多く、用意した在庫はすべてなくなった。昨年度は特定の大量注文が多かったことで、それに比べると目減りしたが、一年を通して、さまざまなグッズがオレンジリボン啓発活動に広く活用された。また、啓発ツールとして、チラシ、ポスター、布リボン、啓発冊子等を作成・配布し、啓発を行った。

＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	2020年度	2021年度
オレンジリボンバッジ	18,182	8,841
安全ピン型オレンジリボンバッジ	2,342	1,072
今治ハンカチタオル	1,872	2,628
クリアファイル	4,776	3,522
ボールペン	3,127	2,818
ネックストラップ	4,978	2,631
除菌ウェットティッシュ	-	3,333



◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止推進月間中に実施するイベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力による啓発ツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期：2021年11月を中心に実施
- 内容：配布対象を不特定の一般の方々とし、マスク20万枚、チラシ9.5万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター1000枚を掲出するなどして、啓発活動を行った。今年度の配布活動は、手袋の着用、手渡しによらない非接触型の配布など、コロナ感染症拡大予防の対策をしながら、子ども虐待防止の啓発を行った。
- 一斉配布協力企業・団体数：154企業・団体



◆ 虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会

子ども虐待によって失われた子どもの命を悼み、子ども虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会を2年ぶりに会場で実施した。同時ライブ配信も行い、会場へ来られない全国の数多くの方々に視聴参加していただき、参加者一同で子どもたちへの追悼の思いを込め、子ども虐待防止について考えを深める場とした。

- 日時・会場：2021年11月28日(日) 銀座プロサラム中央会館・同時ライブ配信
- 参加者：来場者165名、You Tube Live 再生回数:501
- 内容：第19回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会
～私たちの関心が子ども一人ひとりの今と未来を守ります～

第1部：虐待死した子どもの名前を読み上げ、参加者全員で黙祷を捧げた。
 第2部：講演「尊い命を犠牲にしないために～私たち一人ひとりにできること～」 島山由美氏
 第3部：子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」は中止した。



◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

厚生労働省や関係機関の協力の下、「学生によるオレンジリボン運動」について、社会福祉士養成校など全国の大学等に呼びかけ、61校の参加登録があった。登録校には啓発ツール一式をサンプルとして提供した。また、オンラインにて報告会(以下に詳細)を開催した。

- 日時・会場：2022年2月20日(日) オンライン開催
- 参加者：発表校:4校 視聴参加者:344人
- 内容：「学生によるオレンジリボン運動」報告会

報告会にエントリーした12校が発表動画を制作し、この中から代表して4校が制作動画による活動報告を行った。各校からの質疑、応答の時間では活発な意見交換がなされ、お互いの素晴らしい点を讃え、さらなる学びに繋げていく若者らしさが存分に感じられる報告会となった。

ゲストとして、厚生労働省、支援企業のソフトバンク株式会社にご参加いただき、コメントをいただいた。



◆ オレンジリボン情報交換会

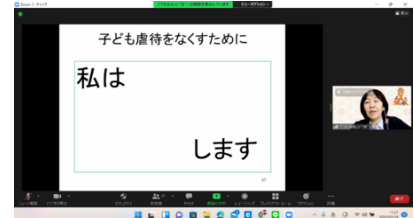
支援企業・団体を対象に、児童虐待防止に対する情報提供およびオレンジリボン運動に携わる関係者同士の交流を目的とした情報交換会をオンラインにて実施した。ブレイクセッションでは、各グループに分かれて参加者同士で意見交換を行った。また、活動報告および講演を収録し、支援企業・団体、個人サポーターに動画配信し、オレンジリボン運動の活動についての理解を深めた。

- 日時 : 2021年9月14日(火) オンライン開催
- 参加者 : 支援企業・団体
- 内容 : ・オレンジリボン運動 昨年度の活動報告
支援企業: auじぶん銀行株式会社
支援団体: 赤穂市地域活動連絡協議会、NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会
・講演「SDGsと子ども虐待防止」(児童虐待防止全国ネットワーク)
・オレンジリボン運動に関する説明 & 報告(//)
・Zoomブレイクセッション

◆ 市民ミーティング

主に個人サポーターに参加を呼びかけ、市民目線で子ども虐待防止のために私たち一人ひとりに何ができるか、グループディスカッションを行い、参加者同士で意見を交換し、考える場とした。

- 日時 : 2022年2月18日(土)、19日(日) オンライン開催
- 参加者 : 個人サポーター他 延べ50人
- 内容 : ・オレンジリボン運動の活動内容の紹介や過去の虐待死事件をふまえ、虐待防止の現状や考え方を法改正を織りまぜながら、参加者に説明した。
・グループに分かれ、「虐待の事件をとおして思うこと」「虐待の事件をとおして自分、私たちにできること」について、ディスカッションした。



3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して子ども虐待防止の啓発を行った。2021年度は全国16団体の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期 : 2021年度中
- 内容 : 企画・広報等の支援をすると共に開催費用を一部負担するなどし、全国各地の支援団体と共催でイベント等の啓発活動を実施した。

支援団体名	啓発内容
特定非営利活動法人かみああと	オレンジリボン運動啓発オンラインチャリティーコンサート
ハーレーサンタCLUB	Xmas トイラン
星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ	第7回星槎箱根フェスティバル
くまがやオレンジハートの会	ずっと笑っていてね。オレンジソング普及活動
特定非営利活動法人子どもの育ちを応援する会	charityマルシェ フォー オレンジリボン
一般社団法人ANDMAMACO	川崎オレンジリボン&MAMACOフェスタ ~子供達の輝く未来のために~
一般社団法人日本ベビーダンス協会	『パパの抱っこでHappy子育て！ベビーダンス』での啓発活動
赤穂市地域活動連絡協議会	人気のプロ料理研究家によるオンライン親子お菓子教室
一般社団法人 ほしかぜ	トーク番組「ねえねえ、ちょっとお茶しない？」YouTube生配信
CFRびわこ	第12回CFRびわこ びわ湖一周オレンジリボンたすきりレー
一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	ネットで福島・沖縄をつなぐオレンジリボン啓発イベント
特定非営利活動法人和歌山子どもの虐待防止協会	オレンジリボンフェスタ2021
くまもと転入ママの会 くまてん	オンラインでの転入ママウェルカム会でオレンジリボン啓発
Tenkiame project	児童虐待防止をテーマにしたボイスドラマ『てんきあめ』全23話 YouTube配信
Ibuki Music Associates	第2回オレンジリボンフェス「ファミリア」コンサート
NPO北海道ネウボラ	オレンジリボン啓発街頭スピーチ他



- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する活動への追加助成と報告会
 新型コロナウイルス感染症下において実施されている子ども虐待防止に資する民間団体による活動に対し、昨年度から継続し、8団体に助成した。さらに実施団体による報告会を開催した。
 - 実施時期：2021年2月1日～7月31日
 - 日時・会場：2021年10月9日（土）オンライン報告会開催
 - 内容：子どもや保護者を対象とする相談活動、子どもの居場所づくりと育児ストレス軽減につながる活動、困難な状況下にある保護者を対象とした子育て支援などの活動について助成を行い、コロナ禍における子ども虐待防止の取り組みの強化を図った。実施後、「『コロナ禍における子ども虐待防止の取り組み強化』事業報告会」を開催し、この模様を関心のある方々へオンデマンド配信した。

実施団体名	活動内容
NPO法人居場所作りプロジェクトだんだん・ばあ 特定非営利活動法人ふるすあるは 岐阜キッズな(絆)支援室 ヨリドコピンポン 特定非営利活動法人CAP センター・JAPAN 日本タッチ・コミュニケーション協会 NPO 法人育ちあいサポートブーケ 特定非営利活動法人CROP.-MINORI	SOSが発信できる地域作り～子どもの居場所作り事業を通してメンタルヘルスの課題のある家庭への啓発コンテンツを介した支援 オンラインで行う子どもと保護者の見守り相談事業 子どもの居場所での学習支援と親の気持ちをほぐす企画 Web で広げる 子どもにやさしいまちづくりAction みんな笑顔心のふれあいオンラインセミナー 子育てほっとステーションブーケのおうち 子どもの一時預かりと育児困難を抱える親のサポート

本追加助成は、子ども虐待防止オレンジリボン運動に参画いただいている支援企業、auじぶん銀行株式会社様によるご支援で実施した。

- ◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携
 2021年12月4日～5日に開催された「第27回学術集会かながわ大会」で、資料配布用のオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

